



がっこうほけんいいんかい もく 学校保健委員会 1/23 (木)

学校保健委員会は、学校における健康の問題を研究協議し、健康づくりを推進するための組織で、本校は、学校と家庭、地域社会が連携して子どもたちの健康問題を解決していくため、学校医、学校歯科医、学校薬剤師、学校運営協議会委員、PTA代表、養護教諭、保健主事、栄養教諭、体育主任、校長、教頭を構成員としています。

構成員の方々にご出席いただき、年1回開催の会議を行いました。学校側から、本校の実態と取り組みとして「健康診断等の実態」「食物アレルギー」「子どもの体力」を報告し、その後、健康、安全の保持増進に向けて、家庭・地域・学校ができることを協議しました。子どもたちが登下校で歩くことが、体力の維持に大きな役割を果たしていることや、地域が開催している「子ども食堂」が、子どもが地域の人とふれあいながら食事を楽しむ機会になっていることなどの意見が出されました。

らいねんど がつ とうこうじこく 来年度4月からの登校時刻について

来年度4月より、子どもたちが学校に登校する時刻を10分遅らせて、8時～8時15分に変更します。今年度は7時50分に昇降口を開けていますが、8時25分までは職員の勤務時間ではないため、非常に手薄な状況です。万が一、その時間帯に地震や不審者の侵入、大けが等が起こったとしても、対応できる職員が限られており、子どもたちの安全が守り切れるといえません。そこで、来年度は登校時刻を遅らせることにしました。ご家庭の都合もあるとは思いますが、4月からは、学校到着が8時以降となるように時間を調節していただきますよう、よろしくお願いいたします。

しょくいん きゆうか 職員の休暇について

本校職員の鈴木麻衣が産前休暇を取得しました。つきましては、3学期より授業の担当者等が変更となった学級があり、ご迷惑をおかけしております。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

ねん すずか ちゃきょうしつ 3年 鈴鹿のお茶教室

社会科で鈴鹿市について学習している3年生は、日本茶インストラクターの佐野智和さんを講師に招き、鈴鹿市の特産物であるお茶について、生産方法やおいしいお茶の淹れ方を教えていただきました。

緑茶、ウーロン茶、紅茶の違い等を学んだ後、実際に一人一人が急須を使って、かぶせ茶の茶葉でお茶を淹れ、自分で淹れたお茶を味わいました。そして、使うお湯の温度や湯を注いでから待つ時間などの違いでお茶の味がかわることを実感しました。「苦い〜」と飲めない子もいましたが、体験を交えた楽しい学習でした。



ねん むかし あそ 1年 昔の遊び

1年生が生活科の授業で昔の遊びに挑戦しました。お手玉、だるま落とし、おはじき、けん玉、こま、あやとりの中から、自分が挑戦してみたいものを一つ選んで取り組みました。友だちと一緒に昔の遊びをやることで、今では遊ぶことが少なくなった

伝承遊びの面白さを感じるとともに、人と積極的に関わろうとする態度や粘り強く取り組もうとする活動意欲を育むことができると考えます。子どもたちは、ボランティアの方に教えていただいたり、上手にできる子のやり方をじっと見たりして、少しずつ上手になっていきました。何度も繰り返し練習することでうまくなったという達成感、子どもたちが今後、困難な壁にぶつかったときもやりぬこうとする姿勢につながると思います。



おおなわきろくかい もく きん 大縄記録会 2/6(木) 2/7(金)

冬季の体力づくりと、失敗しても認め合う関係性や協調性を築くことを目的に、全校で大縄跳びに取り組みました。8の字で跳び、3分間で跳べる回数を数えます。クラスを2チームに分け、その合計回数を伸ばしていけるよう、クラスで作戦を立てて練習を重ねるという取り組みです。

各クラスで体育の時間や休み時間に練習や話し合いを繰り返し、がんばっていました。もちろん、大縄跳びが苦手な子もいますが、その子が跳びやすいようにいろいろな方法を考え、一緒に楽しもうと工夫していました。

大縄記録会では、練習の成果を発揮できるよう、クラスみんなの気持ちを合わせて挑む姿が見られました。跳び終わると自然と拍手が起こっていました。

